

<主要施策名>

○安定した魅力ある雇用環境の確立

平成27年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 砺波まなび交流館

内線

Plan (計画)

主要施策名	安定した魅力ある雇用環境の確立							
施策区分	職業訓練・勤労者福祉の充実							
施策目標	職業訓練の充実やIT事業の推進。							
施策名	職業訓練の充実							
施策の目的	職業訓練施設としての管理運営。							
H26最終予算額	12,271	千円	H26決算額	9,773	千円	H27当初予算額	56,012	千円

平成26年度事務事業の実施状況

D o (実施)	事業名	砺波まなび交流館管理運営事業	
	予算科目	10.5.1.6	
	実施状況	嘱託職員、臨時職員、施設維持管理費 ・修繕費 コンピュータ室空調器取替工事886千円 ・備品購入費 視聴覚室天吊りプロジェクタ349千円	

平成26年度事務事業の評価及び分析

C h e c k (評価)	事業名	砺波まなび交流館管理運営事業	
	必要性・妥当性	3 点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。
	優先性	3 点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）
	効率性	3 点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）
	経済性	3 点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。
	総合評価	4項目合計点数	12 点 A A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下
	評価の理由等	昨年より利用者数は減少したが、少人数の利用団体・利用回数が増加し、施設使用料は約25%（約100万円）増となり大きく収入が増えた。	

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H27）	旧勤労青少年ホームを解体し、駐車場として整備するが、工事期間中には現在の駐車場の一部が使えなくなるため、駐車可能台数を確認しての利用調整が必要である。

A c t i o n (改 善)	来年度 (H28)	清掃委託の見直し
	中長期的 (3~5年)	現在の駐車場白線の幅が狭く、消えかけているため、ライン引きの駐車場整備が必要である。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	駐車場整備をする期間は大人数の団体は利用できないので、利用者への理解と周知を図る。

■所属長評価

施策としての 総合評価	☒	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	☐	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	☐	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

☐	重点化（コストを集中的に投入する）	☐	手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
☐	効率化（費用対効果の改善を行う）	☐	簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
☐	統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	☐	現行どおり
所属長評価 の理由	A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあわし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価 の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価 に対する 改善策	
---------------------	--

平成27年度実施 事務事業評価表

担当課・係・内線： 砺波まなび交流館

内線

P l a n (計 画)	主要施策名	安定した魅力ある雇用環境の確立						
	施策区分	職業訓練・勤労者福祉の充実						
	施策目標	職業訓練の充実やIT事業の推進。						
	施策名	職業訓練の充実						
	施策の目的	勤労者及び地域住民の自己啓発、職業技能向上を目的とする。						
	H26最終予算額	3,478	千円	H26決算額	1,918	千円	H27当初予算額	1,992

平成26年度事務事業の実施状況

D o (実施)	事業名	砺波まなび交流館教室開設費	
	予算科目	10.5.1.7	
	実施状況	砺波市主催事業「まなび講座」 生涯学習コース7講座・パソコン基礎コース7講座開催 講座受講者数2,688人	

平成26年度事務事業の評価及び分析

平成20年度支事務事業の計画及び分析

C h e c k (評 価)	事業名	砺波まなび交流館教室開設費				
	必要性・妥当性	3	点	3点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業である。 2点：市民ニーズが高く、市が実施することが妥当な事業であるが、一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。） 1点：市民ニーズはあるが、市以外（他の公共団体・法人・個人）で実施することが可能である。		
	優先性	3	点	3点：今、実施することが求められている。（優先度が高い・不可欠） 2点：できるだけ早く実施することが求められている。（優先度がある程度高い・継続が望ましい） 1点：実施時期を延期することが可能である。（他事業に比して優先度がそれほど高くない。）		
	効率性	2	点	3点：実施手段が市民の理解を十分得ており、計画どおり効率よく実施した。 2点：実施手段が市民の理解を十分得ているが、計画の一部に見直しの必要がある。 1点：実施手段の一部に見直しの必要がある。（見直しを求める意見等がある。）		
	経済性	3	点	3点：安い経費で実施した。 2点：ある程度安い経費で実施したが、見直しが可能である。 1点：経費の大幅な見直し（事業の一部又は全部（廃止を含む。））が可能である。		
	総合評価	4項目合計点数	11	点	A評価：12点～11点、B評価：10点～9点、C評価：8点以下	
		A				
評価の理由等	I・T関係講座で7講座の1,666名、その他講座で5講座の1,022名の方が受講した。 昨年に比べてI・T関係講座の受講者数が減少している。					

事務事業の前年度、今年度、来年度以降の改善・改革結果又は案（なるべく数値目標を用いて記載してください）

A c t i o n (改 善)	前年度二次評価結果及び理由	
	前年度二次評価に対する改善策	
	前年度二次評価に対する改善結果又は取組状況	
	今年度（H27）	砺波地域職業技能開発協会の解散により、一部の講座を砺波まなび交流館の主催講座として開講を実施する。

Action (改善)	来年度 (H28)	市民のニーズに合わせた新規の講座開設の検討。
	中長期的 (3~5年)	民間が実施している講座との検討。
	改善・改革を実施する際の課題又は阻害要因とその解決策	今現在開講している講座の講師に新規講座について提案をいただき、講座生アンケートの内容も合わせて、市民のニーズに合わせた新規の講座を開設する。

■所属長評価

施策としての総合評価	☒	A評価	目標とした指標等に到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められる。
	☐	B評価	目標とした指標等に概ね到達するとともに、市民の評価が高く、事業成果が上がっていると認められるが、事業の一部に見直しが必要であると思われる。
	☐	C評価	目標とした指標等に達せず、事業の一部又は全部（廃止を含む。）に見直しが必要であると思われる。

上記「施策としての総合評価」を踏まえた今後の事業展開

所属長評価の理由	☐ 重点化（コストを集中的に投入する）	☐ 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える）
	☐ 効率化（費用対効果の改善を行う）	☐ 簡素化（事業の規模や内容を縮小する）
	☒ 統廃合（他の事業と統合する、又は廃止する）	☐ 現行どおり
A～C評価とした判断した理由を記載してください。併せて「担当係長評価と所属長評価に差がある」や「数字としてはあらかし難い必要がある」等がある場合は、その理由等も記載してください。		

■二次評価（ワーキンググループにて記載）

選定理由		
前年度評価		維持：これまでの実施内容で引き続き実施することが適当なもの 改善：実施内容の改善することが適当なもの ①改善・効率化：事業の実施方法、計画、内容、経費等の改善又は効率化を図ることが適当なもの ②拡大：対象の拡大や手段の充実により事業の拡大を図ることが適当なもの ③縮小：対象の縮小や手段の絞り込み等により事業の縮小を図ることが適当なもの ④統合：目的が関連・類似する他の事業に統合を図ることが適当なもの 廃止・休止：廃止又は休止することが適当なもの
今年度評価		
今年度評価の理由		

■二次評価に対する改善策（所管課にて記載）

二次評価に対する改善策	
-------------	--

